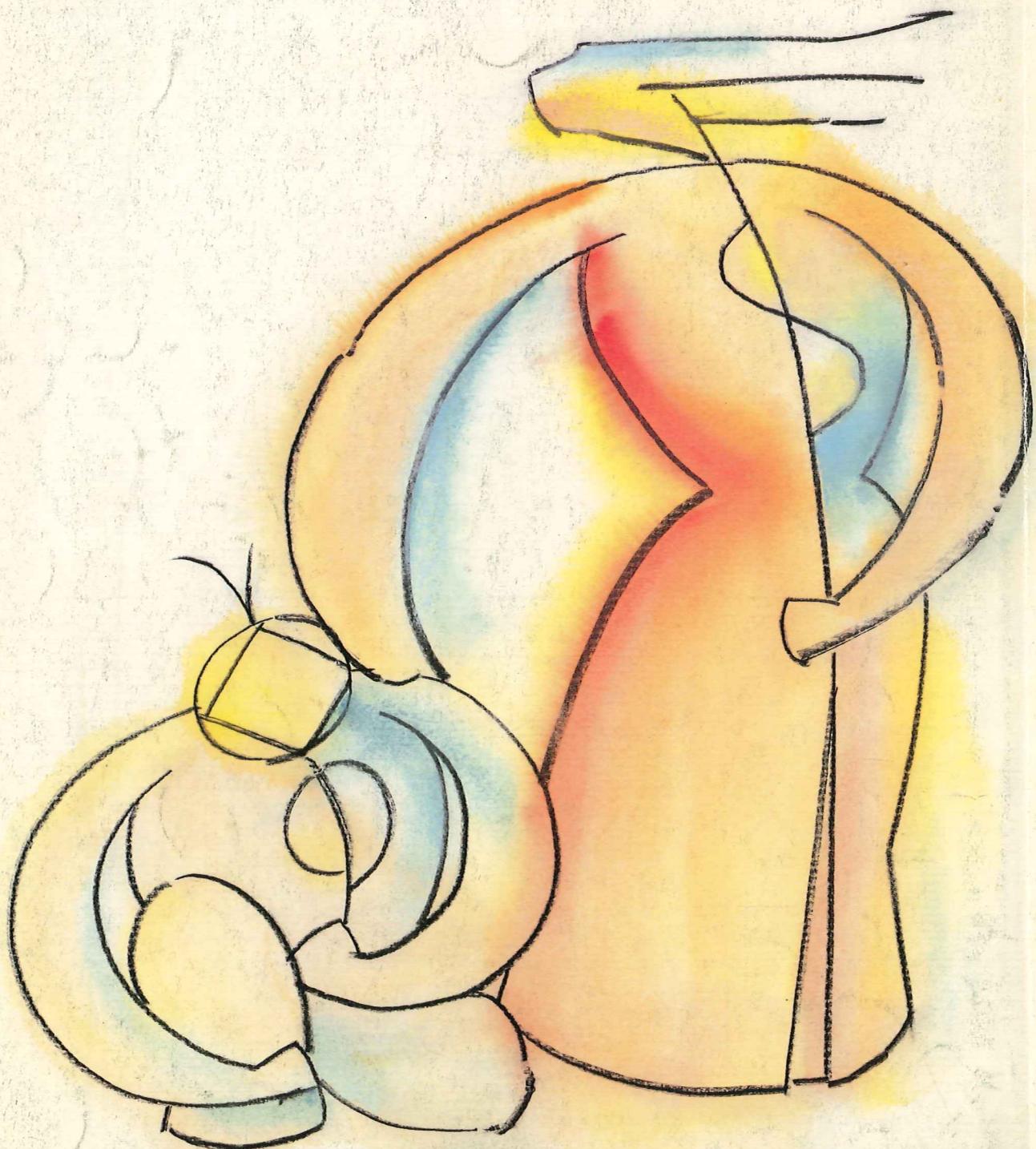


成蹊會誌

1992·7 No.75



Ogurcov 92

成蹊学園の近況

(成蹊学園総務課提供)

大学の近況

今年度の国際交流計画

交換留学

現在、本学とグリフィス大学（オーストラリア・クイーンズランド州・ブリスベン・ゴールドコースト）およびエディンバラ大学（連合王国・スコットランド・エディンバラ）との間で交換留学を実施しています。

グリフィス大学との交換留学は、本年度で二回目を迎え、派遣人数枠、受入人数枠とも昨年の二倍の四名となりま

ました（本年度の受入人数は先方の都合で三名）。人数が増加したことでも明らかですが、一回目の交換留学生がたいへん優秀な成績を収め、友人関係を含め幅広いコミュニケーションが図られたことから、両大学では、この成果を非常に高く評価しています。

エディンバラ大学との交換留学は本年度から開始されることになりました。本学からは二名の学生が本年十月から来年六月まで留学します。エディンバラ大学からは一名の学生が派遣されてきて、本年九月から来年七月まで本学に在籍することになっています。

学生の本学での所属学部を見てみると、両提携校への派遣学生は、工学部一名・文学部三名・法学部二名。提携大学からの学生の受入学部は経済学部二名・文学部一名・法学部一名であり、交換留学制度は全学的に実施されています。現在のところ、提携校は前述の二校ですが、既にアメリカ合衆国ワシントンD.C.のアメリカンユニヴァーシティとの間で具体的な交渉が進展しています。また、将来的には、ヨーロッパ諸国（フランス語圏・ドイツ語圏）のほか、アジアの諸大学とも交換留学を実施することが構想されています。

グリフィス大学との交換留学は、本年度で二回目を迎え、派遣人数枠、受入人数枠とも昨年の二倍の四名となりま

短期留学

昨年より実施されましたゴンザガ大学（アメリカ合衆国ワシントン州スポークス）とエディンバラ大学への夏期短期留学につきましては、前号で紹介いたしました。参加学生の反応もたいへん良好でしたので、今年度も昨年度とほぼ同様のプログラムで実施することになっています。

今年度は、両大学への短期留学に加え、ケンブリッジ大学ペンブロックカレッジへの短期留学が開始されることになりました。ゴンザガ大学とエディンバラ大学への短期留学が、語学研修を中心としたプログラムであるのに對して、ケンブリッジ大学への短期留学は、専門科目を中心としたプログラムであることが特徴です。

具体的な内容としては、

（a）欧米から見た日本（文化的および文学的考察）
（b）比較政治制度（連合王国とアメリカ合衆国（政治および政治学）
（c）ケンブリッジにおける科学史（科学および工学その他）

であります。

外国人に対する講義制度

本年度は十名程度の学生を派遣する予定ですが、世界的に最高水準の大学で専門科目を学べることは、本学の学生にとって生涯忘れ得ない貴重な経験となることは言うまでもありません。

外国人に対する講義制度

本学の外国人留学生を対象に開講している日本語および日本事情に関する科目について、本年四月より学外の外国人にも聽講を認めることになりました。また本学では、各学部でも特定の科目について一般聽講生と同じ扱いで外国人に聽講を認めており、教育プログラムの面でも国際化に取り組んでいます。

平成三年度の就職状況

本年二月の卒業生は「超就職市場」から「就職市場」へ転換を迫られた就職環境のなか、別表および次のような就職内容で、「就職に強い成蹊」という社会的評価にふさわしい実績を収めました。

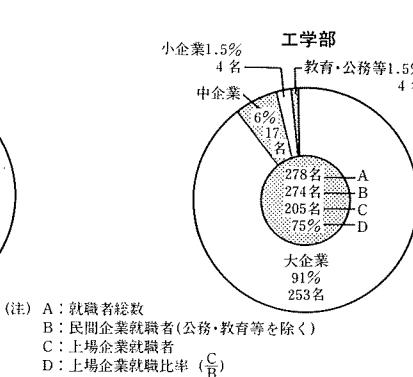
就職先を産業別に見てみると、前年度に復調ぶりが目についた製造業への就職率が三四%（前年・三五%）と

安定基調を示す反面、前年度から低落傾向の金融業界への就職率は二一%

〔前年・一五%〕と、日本経済・社会の動向を如実に反映しています。

企業への就職率は六七%（前年・六四%）と、約五〇%といわれる全国平均を大きく上回っています。

就職者総数の七八%が東京都で、関東地区（含 東京都）に八二%と集中しています。（成蹊大学学長室）



主な就職先（5名以上）

(4・3・31現在)

| 企業名 | 就職者数 | | | 企業名 | 就職者数 | | | 企業名 | 就職者数 | | |
|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|------|------|-----------|-------|------|------|
| | 経・文・法 | 工 | 計 | | 経・文・法 | 工 | 計 | | 経・文・法 | 工 | 計 |
| 沖電気工業 | 11 | 7 | 18 | 全日本空輸 | 7 | 2 | 9 | ダイヤモンドリース | 5 | 1 | 6 |
| 三菱電機 | 12 | 5(3) | 17(3) | パイオニア | 6 | 3 | 9 | 千代田化工建設 | 3 | 3 | 6 |
| 第一勵業銀行 | 16 | | 16 | 富士ゼロックス | 5 | 4(2) | 9(2) | 東急百貨店 | 6 | | 6 |
| 明治生命保険 | 11 | 4 | 15 | 丸紅 | 9 | | 9 | 東京電力 | 3 | 3 | 6 |
| 日本電気 | 3 | 11 | 14 | 伊勢丹 | 8 | | 8 | 日本団体生命保険 | 6 | | 6 |
| キヤノン販売 | 13 | | 13 | 清水建設 | 8 | | 8 | 三井不動産販売 | 6 | | 6 |
| C S K | 9 | 4 | 13 | 大日本印刷 | 7 | 1 | 8 | 三菱銀行 | 6 | | 6 |
| 三菱商事 | 11 | 2 | 13 | 朝日生命保険 | 6 | 1 | 7 | 三菱信託銀行 | 6 | | 6 |
| 東京エレクトロン | 9 | 3 | 12 | I N A X | 6 | 1 | 7 | 安田生命保険 | 6 | | 6 |
| 東芝 | 3 | 9(3) | 12(3) | J T B | 7 | | 7 | 伊藤忠商事 | 5 | | 5 |
| 日立製作所 | 1 | 11(4) | 12(4) | 高島屋 | 7 | | 7 | 興亜火災海上保険 | 5 | | 5 |
| 富士通 | 6 | 6 | 12 | ディーシーカード | 7 | | 7 | 積水化学工業 | 5 | | 5 |
| 三菱自動車工業 | 5 | 7 | 12 | 日本火災海上保険 | 6 | 1 | 7 | ソニー | 3 | 2(1) | 5(1) |
| 日本航空 | 11 | | 11 | 富士銀行 | 7 | | 7 | 第一生命保険 | 4 | 1 | 5 |
| 住友商事 | 10 | | 10 | 三井物産 | 7 | | 7 | 大和銀行 | 4 | 1 | 5 |
| 太陽神戸三井銀行 | 10 | | 10 | 三菱マテリアル | 3 | 4 | 7 | 日本通運 | 5 | | 5 |
| 東京海上火災保険 | 9 | 1 | 10 | 山一証券 | 6 | 1 | 7 | 松下電工 | 3 | 2 | 5 |
| 旭化成工業 | 7 | 2 | 9 | オムロン | 4 | 2 | 6 | 三井海上火災保険 | 5 | | 5 |
| キヤノン | 4 | 5 | 9 | 積水ハウス | 6 | | 6 | 三井建設 | 5 | | 5 |
| 住友信託銀行 | 9 | | 9 | 大東京火災海上保険 | 6 | | 6 | 横河電機 | 2 | 3 | 5 |

〔注〕()内は、大学院生数で外数

毎年卒業時に植えられた記念樹は、その後どうなっているでしょうか。
ここに昭和四十三年から平成四年までの記念樹の一覧表と位置を示す図を掲げ、幾つかの記念樹について近況をお知らせします。

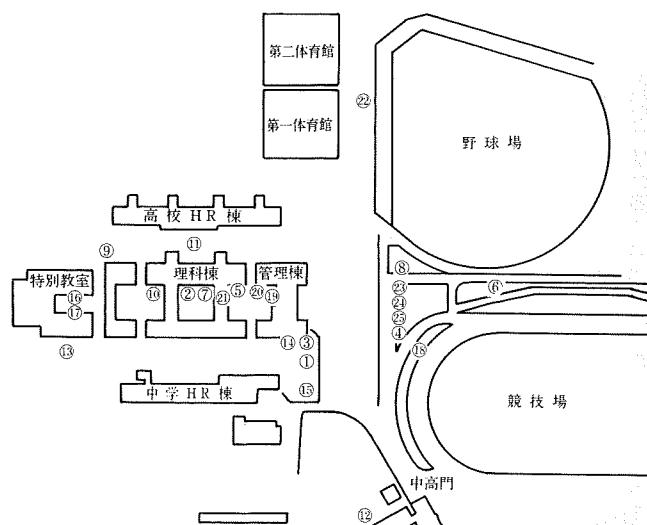
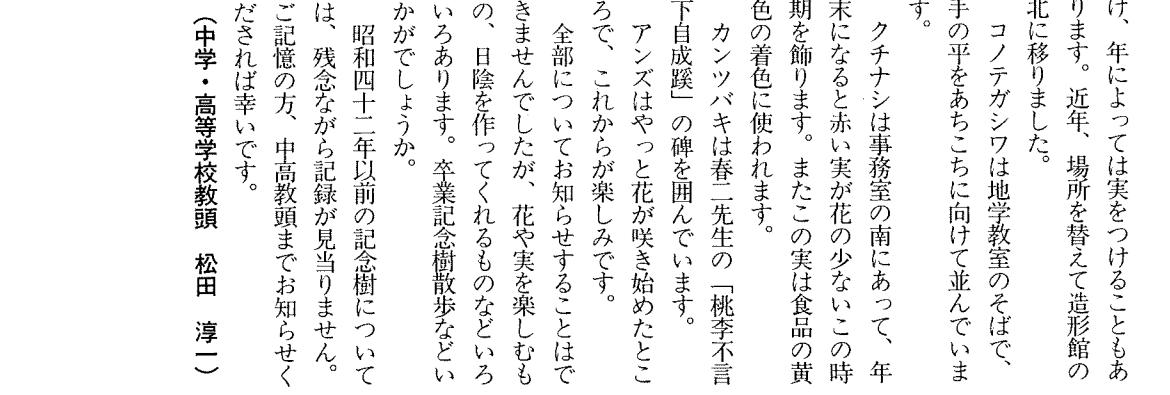
カイズカイブキは大きくなつたのを
ほどよく剪定され化学実験室のよい
日よけとなつています。

ヒマラヤスギも大きくなり陸上競技
場の北側で格好の日陰をつくつていま
す。

クルミはいく種類もあつて秋になる
とさな白い花のふさをつけています。
サザンカは年末に赤い上品な花をつ
け、心あるひとの目を楽しませていま
す。

と、早い時期から大小・形状様々の実を落とし多くの人たちの味覚を楽しませてくれます。

古本圖書志



平成3年度（平成4年3月卒業）高等学校卒業生の主な進路

| | | |
|-------------|------------|--------------|
| 卒業生総数 337 | 進学者数 267 | その他(予備校等) 70 |
| 進学者数内訳 | | |
| 1. 成蹊大学 186 | 2. 国公立大学 8 | 3. 私立大学 67 |

成蹊会報告

平成3年11月1日
平成4年4月30日

一、会議

○理事会

第109回理事会(4・3・10)

(1) 成蹊学園評議員選任の件(卒業生関係)

(2) 平成4年度成蹊会事業計画・収支予算案承認の件

○同窓会

ブレメ同窓会総会(3・11・9)

(1) 工学部同窓会総会(3・11・24)

(2) 工学部同窓会幹事会(3・12・13)

(3) 工学部同窓会幹事会(4・2・27)

(4) 法学部同窓会委員会(4・2・27)

(5) 女学校(やよい会)総会(4・4・24)

(6) 九州支部会(4・1・18)

二、催事

○第69回枯林忌(4・2・22)

墓参 巣鴨染井墓地 追悼会 三菱スポーツセンター

来会者 中村家5名 学園31名 卒業生65名 計99名

平成四年度(春)叙勲受章者

勲三等旭日中綬章

井戸垣正俊(旧高・昭15年卒) 島根大学名誉教授

(敬称略・叙勲は勲三等以上・本会調べ)

○第15回成蹊桜祭(4・4・5)(本誌34頁参照)

場所 成蹊学園構内
主催 成蹊会成蹊桜祭実行委員会
後援 成蹊学園

三、刊行物

(1) 成蹊会誌74号(4・1・1)

(2) 学校学部別名簿(4・1・1)

四、寄付金

氏名・金額は別掲76・77頁参照

表紙のことば

荻野宏幸

道元の『正法眼藏』は、山水にはじまる画論が核心といえよう。「生死去來はことごとく画図なり。無上菩薩・法界虚空、いづれも画図にあらざるなし。」(禅文化学院編『誠心書房』)「もし画が眞実でないならば、一切の存在はすべて眞実でない。仏法も眞実でない。仏法がもし眞実であるならば、画餅も眞実であろう。」(同九六ページ現代語訳)
絵に描いた餅は、とらぬ狸の皮算用とは別ものだった。法典や教條を超えた自在の境涯をめざしながら、過程とはいえ、言葉に頼らざるをえない人の世のしがらみを空しいと觀する究極の洞察、双方の観だろう。それにしても、ことば尻にこだわる歐風の画論や美学をこえて意表をつく広汎な視座である。しばらく、絵を頼りに道元の周辺をめぐりたい。今回は、『女の時代』としよう。

平成4年7月1日
編集兼発行人 谷岡喜久蔵
発行所 社団法人 成蹊会
〒180 武藏野市吉祥寺北町3-3-1
電話 0422-51-2244(直通)・5181(交換)
FAX 0422-54-6766